

京都帝國大學法學大

經濟論叢

第六卷 第四號

大正七年四月一日發行

論說

『座』ノ研究(再ビ).....

農會瑣言.....

京都ニ於ケル舊時ノ摺屋仲間.....

營業稅ノ課稅標準(二卷).....

Unto this Lastヲ讀ム(二卷).....

職工組合論(三).....

我國^{ニ於ケル}營利心ノ起源及發達(三).....

時事問題

米國禁輸問題ノ解剖.....

勸業及農工銀行ノ合併ニ就テ.....

雜錄

大阪市ニ於ケル窮民ノ家計(一).....

續獨逸經濟學界近況(二).....

物價卜割引歩合卜ノ平行.....

米國ノ戰時海運政策(二卷).....

米國ノ戰時租稅法(三).....

帝國統一後ノ獨逸ノ植民の活動(上).....

文學博士

法學博士

法學士

法學博士

法學博士

法學士

文學士

法學博士

法學博士

法學博士

法學士

文學士

文學士

法學士

法學士

在米

.....

三浦周行

財部靜治

本庄榮治郎

神戸正雄

河上肇

河田嗣郎

銅直勇

神戸正雄

戸田海市

.....

.....

榎田民藏

米田庄太郎

高田保馬

岸本熊太郎

阿部賢一

山本美越乃

物價ト割引歩合トノ平行

高田保馬

次ニ紹介スルノハ伊太利ノ學者ぶれしやわにガ一九一六年四月ヨリ一九一七年七月ニ亘リ、伊太利ノ『經濟學統計學雜誌』ニ掲ケタル物價ト割引歩合トノ關係ニ關スル研究ノ一節デアアル。此研究ハ三部分ニ分レ第一ノ部分ハ短期ノ變動第二ノ部分ハ長期ノ變動、第三ノ部分ハ長期ノ變動ノ考察デアアルガ、今述ブル一節ハソノ中ノ第二部分ニ屬スル。

産業界ノ景氣ノ好否ハ周期的律動ヲナシ循環的ニ復歸スルモノデアアルガ、之ニ伴ヒテ物價ヤ利子歩合モ亦當然ニ變動スル。而シテ此種ノ變動ハ此好況沈滞ノ原因以外ノ原因ニヨリテ生ジ來リ、幾十年ヲ通ジテ初メテ現ハルル所ノ長期的變動(物價及ビ割引歩合ニ於ケル)トハ區別シテ考ヘラル可キモノデアアル。茲ニ之ヲ周期的變動

ト名ヅケル。

今物價及ビ割引歩合ノ年々ノ指數ガ與ヘラレタル時、吾人ハ如何ニシテ此原材料カラ周期的變動ヲ算出シ、之ヲ略純粹ナル形デ分離シ來ル事ヲ得ルカ。ソハ極メテ容易デアアル、移動平均ヲトツテ此平均ト年々ノ指數トノ差ヲ求ムレバ足リル。今例ヘバ一九〇〇年ノ物價ノ周期的變動ノ數字ガ求メタケレバ、先ヅ一九〇〇年及ビ其前四年其後四年合セテ九年間ノ物價指數ヲ平均スル、此移動平均カラ一九〇〇年ノ指數ヲ引キ去レバ求ムル所ノ答ガ得ラレル。他ノ年々ニ就イテモ、亦割引ニ就イテモ同様ナル仕方ヲ反覆スル時、周期的變動ノ數列ガ出來上ルノデアアル(九年ノ平均ト限ル必要ハナイ、七年デモ十一年デモ隨意デアアルガ)ノ恐慌カラ次ノ恐慌マデノ年數ヲ考フルト九年ノ平均ガ最モ研究ニ便宜デアアル)。

英獨佛米四國ニ關スル材料ニ此方法ヲ用ヒテ得ラレタル結果ヲ概括スルト略ボ次ノ如キ經驗律ガ得ラレル。

1) Bresciani Tauroni, Relazioni fra sconto e prezzi durante i cicli economici. Giornale degli economisti e rivista di statistica. Vol. LIII. N. 5.

一、割引歩合(以下單ニ割引ト稱ス)ノ變動ハ一般物價ノ變動ヨリモ不規則デアアル。シカシ大體カラ見ルト二者ノ間ニハ平行ノ關係ガ認メラレル。即チ物價モ割引モ好景氣ノ時期ニハ上騰シ恐慌ノ年ニ其頂點ニ達シテ之ニ引續ク沈滞ノ期間ハ下降スル。

二、割引ノ變動ハ物價ノ變動ヨリモ大デアアル。産業界好況ノ時ニ割引ノ上騰ノ程度ハ物價ノソレニ過ギ、沈滞ノ場合割引下降ノ程度ハマタ物價ノソレニ過グルヲ常トスル。

然ルニぎつふえんハ割引ト物價トノ間ニ反比例的關係ノ存スル事ヲ説イタ。併シ氏ガ此結果ヲ得ルマデニハ一種ノ不當ナル方法ヲ計數ニ加ヘテ居ル。即チ同年ノ物價ト割引トヲ對立セシムル代リニ、今年ノ割引ト明年ノ物價トヲ比較シタ。カカル方法ヲ用フルナラバ、割引ノ變動ニ反對ナル變動ガ物價ノ上ニ現ハレル事ガ無イデモアルマイ。併シ、割引ガ物價ノ上ニ影響ヲ及ボスニハ多少ノ期日ヲ要スルガ故ニ此ノ如ク翌年ノ物價ヲ今年ノ割引ト比較スルニシタ所デ、

ぎつふえんノ結論ハ正シクナイ。カカル方法ニヨリテ到達セラル可キ結論ハ次ノ如クデアアル。即チイ、割引ガ上騰シテ物價ガ下落スル場合、(ロ)、割引下降シテ物價騰貴スル場合、(ハ)、割引モ物價モ共ニ上騰スル場合、(ニ)、割引モ物價モ共ニ下降スル場合、此四ノ場合ガ何レモ現ハレテ來ル。決シテぎつふえんノ言フ如ク二者ハ常ニシモ反比例スルモノデハ無イ。

マタすびいのモ之ニ似タル見解ヲ抱イテ居ル。氏ニヨレバ、割引歩合ト貨幣ノ購買力トノ間ニハ完全ナル平行ガ存スル。コハ云フマデモ無ク、一般物價ト割引トノ逆行ヲ意味スルモノデ、正シク前掲ノ提説ト反對スル。此すびいのノ學說ハ精々割引物價ノ短期間ニ於ケル變動ニ就イテノミ妥當ナリ得ルモノデアアル。併シ之ニ就イテサヘモ、割引ノ變動ハ物價ノ異方向ナル變動ト相伴フト一概ニ云ヒ得可キデナイ。割引ノ動搖ハ一般ニタダ有價證券ノ價格ニノミ確實ナル影響ヲ有シ得ルノデアアル。尤モ、時トシテハ(特ニ恐慌ノ場合ニ於テ)貨幣ノ需要ニ對スル供給

2) Supino, Il saggio delle sconto e il saggio dell' interesse dopo lo scoppio della Guerra, Riforma sociale, 1915, p. 4.

ノ缺乏ガ割引歩合ヲ上騰セシメ、延イテ商品ノ所有者ヲシテ之ヲ賣急ガセル事ガアル。此場合割引歩合ニ伴ヒテ貨幣ノ購買力ノ増加スルノハ見易キ道理デアル。併シナガラ、一般ノ場合ニ就イテ云ヘバ、貨幣ノ需要セラルルノハ之ニヨリテ貨物特ニ原料品ヲ得ンガ爲デアル。カカル用途ニ向ケラレタル貨幣ハ銀行ヲ出デテ流通界ニ入り、物價ヲ騰貴セシメル。此場合需メラルルモノハ一見貨幣ナレドモ、其實資本財デアル、而シテ割引ノ上騰ハ貨幣ノ購買力ノ増加ヲ意味セズシテ、資本ノ需要ノ増加ヲ意味スル。從ヒテ割合高マレバトテ此場品貨物賣急ガ來ル譯デハ無イ、投機者ハ寧ロ物價ノ騰貴ヲ豫期シテ買占貯藏ヲ試ミルノデアル。

割引ト物價トノ周期的變動ガ同一ノ方向ニ向フトハ云フガ、更ニ立入りテ、重ナル種類ノ商品ノ價格ノ變動ト割引ノソレトヲ比較シテ見ヤウ。材料ヲ獨逸ニ探ル。獨逸ニ於テハ一八五〇年ヨリ一八九一年マデニ景氣沈滞ノ周期ガ七ツ程認メラレルガ、何レモ七年計デ其律動ヲ終ツ

テ居ル。七ノ周期ニ就イテ初年ハ初年丈、第二年ハ第二年丈ノ平均ヲ探ツテ見ルト、次ノ様ナ數字ヲ示スノデアル。

	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七
	年	年	年	年	年	年	年
金	102.2	102.1	102.2	102.2	102.2	102.1	102.2
燃料	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1
紡織品	102.7	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8
植民地品	102.9	102.9	102.9	102.9	102.9	102.9	102.9
畜類	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8	102.8
石	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
一般物價	102.9	102.9	102.9	102.9	102.9	102.9	102.9
割引	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1

之ニヨリテ見ルト、價格ノ變動ノ範圍ハ原料品ニ大デアツテ、食料品ニ小デアル。從ヒテ變動ノ範圍極メテ大ナル割引ト善ク平行スルモノハ原料品ノ價格、テアルト見ヘバナラヌ。一般物價ト割引トノ間ニ相關關係ガ認メラレルガ、ソハ大部分、原料品ノ價格ト割引トノ間ノ嚴密ナル平行ニ負フモノトシテ考フ可キデアル。

然ラバ此ノ如キ割引ト物價トノ平行ハ如何ニシテ生ジ來ルノデアルカ。此點ニ關シテ直ニ念頭ニ浮ビ來ルノハふいしやあノ經濟的周期ノ説明

デアル。氏ニヨレバ名目ノ利子ト事實ノ利子トヲ峻別シナケレバナラス。此二者ハ必ズシモ相平行スルモノデハナイ。事實ノ利子ハ略ボ名目ノ利子カラ貨幣ノ購買力ノ減少ヲ差引イタモノデアル。故ニ年五分ノ名目ノ利子デアツテモ、一年ノ後ニ貨幣ノ購買力ガ三分減ズルトスレバ事實ノ利子ハ約二分ニ過ギナイ。サテ、名目ノ利子ハ物價ノ騰貴ニ伴ヒテ増加スルケレドモ、其速度ハ徐々タルモノデアル。從ヒテ經濟的周期ノ上騰ノ時期(好況ノ時期)ニ於テハ事實ノ利子ハ一般ニ低イ。マタ同様ニ、物價ノ下落ニ伴ヒテ割引モ下降スルケレドモ其速度ハ遲イ。從ヒテ沈滞ノ時期ニ於テハ事實ノ利子ハ一般ニ高イ様デアル。而シテ物價ガ騰貴スル時其原因ガ貨幣ニ存セズシテ貨物ノ疊加的缺乏ニ存スル事ガアリ、其下落スル時原因ガ貨幣側ニ存セズシテ貨物ノ疊加的過剩ニ存スル事ガアル。ふいしやあハ此等ノ事實ニ本ツイテ其恐慌ノ説明ヲ進メテ居ル。投機ト沈滞トノ時期ハ豫見ノ不平等ナル結果デアル。先ツ物價ガ騰貴シ出シタト想

定スル。利潤ハ増加スルニ相違無イ。從ヒテ企業家ハ更ニ高イ名目ノ利子ヲ拂ヒ得ルノデアルガ、當初少數ノ人ノミガ此可能ヲ認メタ所ガ利子ハ未ダ充分ニ此事情ニ適應スル丈上騰シナイ、企業家ハ餘分ノ利潤ヲ擧ゲル、將來亦然ラントノ見込ヲ生ジテ資金ノ需要増加シ利子ハ益高クナル。利子ノ上騰ガ充分デナイ間ハ此過程反覆セラレ遂ニ利子ノ充分ナル適應ヲ見ルニ至ルノデアルガ、茲ニ於テ物價ノ低落ガ始マリ反對ノ現象ガ生ズル。カルガ故ニ氏ニヨレバ恐慌ハ利子ガ物價ニ適應スル時ニ生ズ可キデアル。此議論ノ據リテ立ツ論據ニハ疑問ヲ挿マザルヲ得ナイ。先ヅ一般物價ノ變動ト利子歩合ヲ對比セシメル事ハ宜シクナイト思フ。前述ノ如ク物價變動ノ程度ハ貨物ノ種類ニヨリテ著シク差異ガアル。而シテ原料品ニ於テ動搖ハ最モ大キイ、然ルニ企業家ノ利潤ト最モ密接ノ關係ヲ有スルモノハ此原料品ノ價格デアル。此點ヲ考ノ中ニ入レテ議論ヲ進メナケレバナラスト考ヘラレ。次ニ氏ハ事實ノ利子ノ變動ヲ以テ經濟的周

期ノ説明ノ關鍵トナシタ。初メ名目ノ利子ノ上騰ハ物價ノソレニ及バズ、追ヒ着ク時ニ沈滞ノ時期ガ始マルト云フ、シカシ此主張ハ別ニふいしやあ自身ニヨリテ充分ナル統計の證明ヲ與ヘラレテ居ナイ。今之ヲ徵檢スル爲ニ英獨佛三國ニ於ケル事實ノ割引歩合ノ周期的變動ノ定型の曲線ヲ算出シテ見ル。

ふいしあハ名目ノ利子ガ物價ニ適應シタ時ニ恐慌來ルト云フケレドモ、事實ニ於テハ恐慌ノ年ニ於テモナホ、事實ノ割引歩合ハ甚ダ低イ。英國ニ於テ一、四步獨逸ニ於テ〇、三步佛國ニ於テ一、五步ニ過ギヌ。而シテソノ急激ナル増加ハ恐慌ノ前ニ起ラズシテ寧ロ恐慌ノ爆發シタ後ニ生ジテ居ルノデアル。

獨逸(七回ノ周期變動ノ平均)

I 割引	年一	年二	年三	年四	年五	年六	年七
II 一般物價	102	111	114	111	111	110	110
III 貨幣減價	—	(1) 1/2	(1) 3/4	(1) 1/2	1/2	1/2	0
IV 事實ノ割引歩合	—	1	1	1	1	1	1

佛蘭西(四回ノ周期的變動ノ平均)

雜錄 物價ト割引歩合トノ平均

I	第一年	第二年	第三年	第四年	第五年	第六年	第七年
II	102	110	114	111	111	110	110
III	—	(1) 1/2	(1) 3/4	(1) 1/2	1/2	1/2	0
IV	—	1	1	1	1	1	1

英吉利(七回ノ周期的變動ノ平均)

I	第一年	第二年	第三年	第四年	第五年	第六年	第七年
II	102	110	114	111	111	110	110
III	—	(1) 1/2	(1) 3/4	(1) 1/2	1/2	1/2	0
IV	—	1	1	1	1	1	1

(II)ハ前年ノIIヨリ其年ノIIヲ引キ去レル答チ前年ノIIニテ除シタル商、IVハIトIIIトノ和デアル。*印ヲ附シタルハ原義ニ符號ノ誤アリテ紹介者ノ訂正シタルモノ。

發展ノ時期ハ利子ノ上騰シテ物價ニ追ヒ付キ、事實ノ利子ガ正常ノ歩合ニ達スル時ニ終ルト云フ主張、事實ニ適合シナイ。事實ノ利子ノ周期的變動ハ景氣ト沈滞トノ律動ノ原動力デ無クシテ、寧ロ、單ニ其結果タルニ止マル、從ヒテ前者ヲ以テ後者ヲ説明ス可キモノトハ思ハレヌ。事實ノ利子ノ著シキ上騰ハふいしやあノ信ズルガ如ク取引ノ停止ノ原因デハナクシテ、恐慌ノ後ニ續キ來ル物價ノ下落ノ結果デアル。

上ニ述ベタル所ハぶれしやあにノ論文ノ第二ノ部分ノ前半デアル。後半ハ利潤ト割引歩合トノ關係ニ論及シテアルガ、事情ガ許セバ之ヲモ後ニ紹介シタイト思フ。序ニ原文ニハ割引歩合ト一般物價トノ變動ノ詳細ナル統計ガ載セテアルガ、今ハ其中カラタダ英國ノ丈ヲ轉載シテ置ク。此數字ヲ得來レル方法ハ前ニ述ベタ通リデア

牟次 一般物價 割引歩合 牟次 一般物價 割引歩合

一八二八	(-)	六	一八六八	(-)	二
一八二九	(-)	六	一八六九	(-)	二
一八三〇	(-)	六	一八七〇	(-)	二
一八三一	(-)	六	一八七一	(-)	二
一八三二	(-)	六	一八七二	(-)	二
一八三三	(-)	六	一八七三	(-)	二
一八三四	(-)	六	一八七四	(-)	二
一八三五	(-)	六	一八七五	(-)	二
一八三六	(-)	六	一八七六	(-)	二
一八三七	(-)	六	一八七七	(-)	二
一八三八	(-)	六	一八七八	(-)	二
一八三九	(-)	六	一八七九	(-)	二
一八四〇	(-)	六	一八八〇	(-)	二
一八四一	(-)	六	一八八一	(-)	二
一八四二	(-)	六	一八八二	(-)	二
一八四三	(-)	六	一八八三	(-)	二
一八四四	(-)	六	一八八四	(-)	二
一八四五	(-)	六	一八八五	(-)	二
一八四六	(-)	六	一八八六	(-)	二

一八四七	(-)	二	一八四七	(-)	二
一八四八	(-)	二	一八四八	(-)	二
一八四九	(-)	二	一八四九	(-)	二
一八五〇	(-)	二	一八五〇	(-)	二
一八五一	(-)	二	一八五一	(-)	二
一八五二	(-)	二	一八五二	(-)	二
一八五三	(-)	二	一八五三	(-)	二
一八五四	(-)	二	一八五四	(-)	二
一八五五	(-)	二	一八五五	(-)	二
一八五六	(-)	二	一八五六	(-)	二
一八五七	(-)	二	一八五七	(-)	二
一八五八	(-)	二	一八五八	(-)	二
一八五九	(-)	二	一八五九	(-)	二
一八六〇	(-)	二	一八六〇	(-)	二
一八六一	(-)	二	一八六一	(-)	二
一八六二	(-)	二	一八六二	(-)	二
一八六三	(-)	二	一八六三	(-)	二
一八六四	(-)	二	一八六四	(-)	二
一八六五	(-)	二	一八六五	(-)	二
一八六六	(-)	二	一八六六	(-)	二
一八六七	(-)	二	一八六七	(-)	二
一八六八	(-)	二	一八六八	(-)	二
一八六九	(-)	二	一八六九	(-)	二
一八七〇	(-)	二	一八七〇	(-)	二
一八七一	(-)	二	一八七一	(-)	二
一八七二	(-)	二	一八七二	(-)	二
一八七三	(-)	二	一八七三	(-)	二
一八七四	(-)	二	一八七四	(-)	二
一八七五	(-)	二	一八七五	(-)	二
一八七六	(-)	二	一八七六	(-)	二
一八七七	(-)	二	一八七七	(-)	二
一八七八	(-)	二	一八七八	(-)	二
一八七九	(-)	二	一八七九	(-)	二
一八八〇	(-)	二	一八八〇	(-)	二
一八八一	(-)	二	一八八一	(-)	二
一八八二	(-)	二	一八八二	(-)	二
一八八三	(-)	二	一八八三	(-)	二
一八八四	(-)	二	一八八四	(-)	二
一八八五	(-)	二	一八八五	(-)	二
一八八六	(-)	二	一八八六	(-)	二
一八八七	(-)	二	一八八七	(-)	二
一八八八	(-)	二	一八八八	(-)	二
一八八九	(-)	二	一八八九	(-)	二
一八九〇	(-)	二	一八九〇	(-)	二
一八九一	(-)	二	一八九一	(-)	二
一八九二	(-)	二	一八九二	(-)	二
一八九三	(-)	二	一八九三	(-)	二
一八九四	(-)	二	一八九四	(-)	二
一八九五	(-)	二	一八九五	(-)	二
一八九六	(-)	二	一八九六	(-)	二
一八九七	(-)	二	一八九七	(-)	二
一八九八	(-)	二	一八九八	(-)	二
一八九九	(-)	二	一八九九	(-)	二
一九〇〇	(-)	二	一九〇〇	(-)	二
一九〇一	(-)	二	一九〇一	(-)	二
一九〇二	(-)	二	一九〇二	(-)	二
一九〇三	(-)	二	一九〇三	(-)	二
一九〇四	(-)	二	一九〇四	(-)	二
一九〇五	(-)	二	一九〇五	(-)	二
一九〇六	(-)	二	一九〇六	(-)	二
一九〇七	(-)	二	一九〇七	(-)	二